

届けてきました 市民の声と願い

12月議会で、日本共産党北九州市会議員団から藤沢加代市議が会派質疑に立ち、高橋都、伊藤淳一、永井佑の3市議が一般質問を行いました。各議員が物価高騰対策、市営住宅の有効活用、学校給食、病児保育の充実など、多彩な市民の願いを取り上げ、その実現を迫りました。初代門司駅の機関車庫跡などの歴史的遺構が発見され、保存を求める声が大きく広がっている

にもかかわらず、武内市長はその視察さえ明言しませんでした。一方、国が進める「稼げるまち」を前面に押し出した市政運営を強力に推進。また指定管理者の検証視点の不十分さ、男女賃金格差の実態など様々な問題が浮き彫りになりました。市議団が提出した意見書のうち、2本が可決されました。

「学校給食費ゼロ、補聴器購入助成を実現する若松の会」が発足



山内涼成市議が事例を紹介

「学校給食費ゼロ、補聴器の購入助成を実現する若松の会」が12月9日発足しました。補聴器購入助成問題では山内涼成市議が、パワーポイントを使って、助成制度の導入自治体数がこの1年間で約1.9倍に広がっていることや先進的な事例とされる東京都港区、山形市などの事例を詳しく紹介。北九州市でも助成制度の早期実現のため、署名運動などを広げていこう、と呼びかけました。

給食無償化問題では区内の参加者が、学校給食の歴史を振り返りながら、給食無償化と有機農業を結び付けた「安心・安全な学校給食の実現」を進めようと呼びかけました。

学校給食無償化をめざす戸畑の会 結成

「学校給食の無償化をめざす戸畑の会」が12月16日発足し、代表に鋤塚總子さんが就任しました。学習会では小学校の元給食調理員さんが、異物混入が相次ぐ学校給食の現状や問題点を指摘。市議団の荒川徹団長は「なぜ無償化なのか」と問いかけ、①子育て支援の大きな柱（重たい学習費などの負担軽減）②学校給食は教育の一環③憲法で義務教育は無償と規定している一と強調しました。



出口しげのぶ市議(中央)

給食無償化を求める署名が地域でも広がっています。12月9日、出口市議らが、小倉北区の団地で給食無償化署名に取り組んだところ、自治会役員から「もう署名を回しているよ」との声が返ってきました。1時間の署名活動で、45人が署名。参加者から「良い反応にビックリ。また、署名をやる」と、笑顔も元気もいっぱい行動となりました。

その上で、①全1,718自治体のうち、すでに489自治体で全額または一部補助を実施②福岡県全60自治体のうち18市町村で、全額または一部補助を実施③今年6月の北九州市議会で、共産党提出の「学校給食の無償化を求める意見書」が賛成多数で可決された一ことなどを紹介、「世論を広げ給食費無償化の早期実現を」と訴えました。



荒川徹団長



「ウラフィン疑惑の真相究明」を求める横断幕に駆け寄り、市民から、「本当にその通り」との声が寄せられました。市議団はこれまで金権汚職事件のたびに、政府に対し「疑惑解明と再発防止を求める意見書」を市議会に提案するなど、金権政治の一掃を求める声を届けてきました。この日の街頭でも、みなさんの先頭に立って頑張る決意を表明しました。

裏金疑惑の徹底究明、企業・団体献金の禁止を！

北九州市からも声をあげましょう

日本共産党北九州市会議員団は12月19日、JR小倉駅前で自民党の安倍派、二階派など派閥の政治資金パーティー券をめぐる問題で緊急宣伝行動を行いました。「ウラフィン疑惑の真相究明」を求める横断幕に駆け寄り、市民から、「本当にその通り」との声が寄せられました。市議団はこれまで金権汚職事件のたびに、政府に対し「疑惑解明と再発防止を求める意見書」を市議会に提案するなど、金権政治の一掃を求める声を届けてきました。この日の街頭でも、みなさんの先頭に立って頑張る決意を表明しました。

共産党市議団 初代門司駅の遺構を視察



市議団は12月11日、JR門司港駅横で出土した初代門司駅の遺構を視察しました。遺構は市の複合公共施設の建設調査の中で見つかったもので、機関車庫跡に加え、初代駅舎の外郭とみられる石垣などが発見されています。

学芸員から説明を受けた市議からは「門司の歴史を物語る遺構」「複合施設の建設より、保存・活用こそ必要」などの声が上がりました。

市議会では、高橋議員が遺構の保存・活用を主張。市長に再三、直接視察するよう求めましたが、明言することはありませんでした。

旧門司駅遺構の全面的保存を「城野遺跡の会」が申入れ

城野遺跡の会は12月12日、旧門司駅遺構の全面的保存を求める市長あての要望書を提出しました。



要望書は、発見された遺構について「明治以降の北九州における近代産業の幕開けを物語る貴重な発見」と指摘。遺跡の全面的保存、整備と併せ、複合公共施設建設事業の見直しなどを求めています。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース 2023.12.27

No. 582

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646 FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 ホームページアドレス⇒



会派質疑

公務労働の賃金格差是正を

藤沢議員は公務員の給与について男女の賃金格差、会計年度任用職員の処遇改善策を求めました。総務局長は「役職者の男女比や勤続年数の男女差、任期の定めの有無」などから生じているとしました。



藤沢 かよ 議員

女性の課長級以上の割合が少ないことは、「昇任欲が男性職員より低い」と、女性が家事・育児・介護を主に担っている実態を顧みない、まるで女性職員個人に問題があるかのような驚くべき答弁でした。また、「任期に定めのある」会計年度任用職員の76%は女性で、低すぎる給料と一時金、病休が無給という不利な条件に置かれています。市が率先して処遇改善を図るべきです。

一般質問

資料だけで検討？ ぜひ現地へ！

高橋議員は、初代門司駅舎跡の保存と活用のために、市民の意見収集と専門家を含めた検討委員会の設置、同地で予定されている門司港地域複合公共施設整備事業の抜本的な見直しを求めました。



高橋 都 議員

2019年に発掘された東京都の高輪築堤（明治5年）は、国史跡に指定され、現地保存となっています。

高橋市議は保存の検討を求め、「百聞は一見に如かず」として、市長に現地視察を要請。市長は「文献資料などの検証、それから専門家の皆様の意見なども伺った後、適切に判断してまいりたい」と踏み込んだ答弁はしませんでした。

一般質問

社会課題解決への挑戦と経済成長の両立を

伊藤議員は、「稼げるまち」の実現を打ち出している市長に対し、地球温暖化、少子・高齢化など社会課題解決と両立してこそ、北九州市のポテンシャルを最大限発揮できると強調。「働く者の生活を守ること」「ジェンダー平等の視点」などが求められると訴え、市長の見解をただしました。



伊藤 淳一 議員

市長は直接答弁に立たず、企画調整局長らが「両立を図ることは重要」としながら、「雇用ルールの確立」などに言及することはありませんでした。

また伊藤議員は、公共施設の老朽化対応について、「異常気象とも関連し、『想定外のことが起きている』」と指摘。定期点検を頻繁に行うとともに、新技術も活用し①点検の目を増やすこと②点検の精度を上げることを強く求めました。

反対討論

反対討論に立った出口議員は、北九州市立埋蔵文化財センターの移転・耐震補強工事の請負契約締結について、移転先の旧八幡市民会館の文化財としての調査をしないまま工事にとりかかることは認められないと厳しく批判。新門司工場ガス化溶融炉等改良工事の請負契約について、既存処理能力の温存やコークスによるCO2大量排出は、ゴミ減量など地球温暖化対策に逆行するとして反対しました。

一般質問

ユースステーション増設を

永井議員は、中高生らの第3の居場所となっている黒崎コミュニティの「ユースステーション」について、令和4年度は3万人以上が利用し、料理やプログラミング講座など160回に及ぶ多彩なイベントを取り組んできたことを紹介。一方、利用者の8割以上が市の西部地域に偏っているとし、東部地域にもユースステーションを整備するよう求めました。



永井 佑 議員

学校給食無償化・質の向上問題では、給食の無償化や支援をする自治体が相次ぐ中、市長が「給食費はそのまま」と答弁したことに対し「物価高などに苦しむ市民をどう見ているのか」と厳しく批判。無償化とともに安全で優良な有機農産物の割合を高め、地産地消に取り組むことを強く求めました。

図書館などの指定管理者について、今後のサウンディング調査で、「市も指定管理者も稼げる取り組み」としているが、公共施設がどう稼ぐのか、指定管理者制度になじむのか、教育委員会として検証すべきとして反対しました。しかし、いずれも自民・公明などの賛成で可決されました。



出口 しげのぶ 議員

病児保育

市内の病児保育施設

すべて無償化の対象に

北九州市内の病児保育の利用料が、すべての施設で無償化されることが明らかになりました。永井議員の質問に武内市長が答弁したものです。

病児保育は、病気のために保育所で預かることができない子どもを一時的に預かる保育サービスで、働く保護者が安心して子育てできる環境整備を図ることが目的です。利用者は県による無償化（23年4月）にともない急増。昨年4月は328人でしたが、今年同月は2.7倍の874人となっています。

しかし、病院などの事業所で行われている病児保育は無償化の対象になっていませんでした。

永井議員は今年9月議会で、市内全ての病児保育施設を無償化の対象とするよう要望し、実

現。12月議会では、無償化の対象が広がったことを市内の保育所、幼稚園などに広く周知することを求めるとともに、残る1カ所の無償化の対象外施設についても県に無償化を働きかけるよう求めました。

市長は、市内に1カ所あった体調不良児対応の事業所内型の病児保育施設についても「病児対応施設として届けが行われたため、無償化の対象となった」と答弁。これで市内すべての病児保育は無償化の対象となりました。



12月議会 意見書・決議採択結果

| 12月議会 | 日本共産党提出意見書・決議に対する 主な会派賛否表 | 日本共産 | 自民党 無所属 の会 | 公明党 | ハート フル | 日本維新 | 自民未来 | 結果 |
|-------|---|------|------------------|-----|-----------|------|------|----|
| | 議員数 | 8 | 16 | 13 | 11 | 3 | 3 | |
| | 大学の自治、学問・研究の自由への政治介入につながる 国立大学法人法改正案の廃案を求める意見書 | ○ | × | × | ○ | × | × | 否決 |
| | 沖縄・辺野古代執行訴訟に係る代執行の慎重な判断を 求める意見書 | ○ | × | × | × | × | × | 否決 |
| | ガザ攻撃中止と即時停戦のため、 各国・国際機関に強く働きかけることを求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 旧統一教会の被害救済の実効性ある財産保全の法整備を 求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 消費税の減税を求める意見書 | ○ | × | × | × | ○ | × | 否決 |
| | 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を 求める意見書 | ○ | × | × | × | ○ | × | 否決 |

山内議員

意見書提案

共産党の山内議員が意見書の趣旨説明を行いました。採決では、共産党が提案していた「ガザ攻撃中止と即時停戦のため、各国・国際機関に強く働きかけることを求める意見書」「旧統一教会の被害救済の実効性ある財産保全の法整備を求める意見書」が、いずれも賛成多数で可決されました（別表参照）。

市議団提出の意見書可決は6月議会、9月議会に続き、3議会連続となります。



全ての意見書に
対する賛否は
こちらから

日本共産党各議員の常任委員会配置（◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員）

| 総務財政委員会 | 経済港湾委員会 | 教育文化委員会 | 保健福祉委員会 | 環境水道委員会 | 建設建築委員会 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 大石 正信 | 高橋 都 | ◎永井 佑 | 荒川 徹 | 出口 成信 | ☆○山内 涼成 |
| | | 藤沢 加代 | 伊藤 淳一 | | |